

岡垣第一幼稚園のみなさん



岡垣第一幼稚園のみなさんと一緒に

令和3年12月8日、岡垣第一幼稚園（深田高一園長）の園児のみなさんが本会を訪れ、かわいい笑顔と2万円の募金を届けてくれました。

今回、幼稚園を訪問し、園長の深田高一先生、副園長の深田章敬先生に話を伺いました。

まもなく創立60周年

岡垣第一幼稚園は昭和37年に設立され、来年60年目を迎えます。在園児は約300人（14クラス）、職員は約30人で岡垣町内では一番規模の大

ご寄付ありがとうございました。



創立60周年を迎える岡垣第一幼稚園

「家族や高齢者を大切に育てる」を育み、子どもの好奇心を伸ばす教育や、自然の中で学ぶことを重視し、芋掘りやみかん狩りなど、実体験を通じた教育に力を入れています。英語や絵画教室は外部講師を招いて専門的指導を実施し、さまざまな手法を取り入れて園児一人ひとりの個性を大切に育てています。また、給食は設立時から園内で調理する方式を取り入れ、「あたたかく手作りの味」を重視しており、給食に使用するお米は、園児の各家庭から持参してもらうなど、食べ物大切さも園児に伝えていきます。



コロナ禍で、園生活もいろいろと制限される中ですが、園児のにぎやかな声とかわいい笑顔が園中に広がる、元気いっぱい幼稚園でした。

園児も募金のお手伝い



園長の深田高一先生（写真左）と、副園長の深田章敬先生（写真右）



社協だより

198号

令和4年2月1日

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

地域の課題はみんなで解決!

大島で話し合いの輪が広がっています

大島で地域のことや自分たちのことを考え、地域の課題解決に向けて話し合う取り組みが令和3年7月よりスタートしました。

つながれひろがれ地域福祉! シリーズ④

「5年後、10年後も大島で暮らしていきたい。そのためは今のうちから大島のことを考えてい

そんな中、印象に残った住民の言葉がありました。

「食料は買うことはできる。でも、それを調理するのができなくなってきたらどうしようね...」

「3食きちんと食べられていないかな...」

「まあ、みんなで一緒に話してみませんか?」

「食料は買うことはできる。でも、それを調理する...」

「5年後、10年後も大島で暮らしていきたい。そのためは今のうちから大島のことを考えてい

「食料は買うことはできる。でも、それを調理する...」

チャリティボウリング大会 中止のお知らせ

市社会福祉協議会では、毎年2月に宗像シティボウルとの共催で、「チャリティボウリング大会」を開催しています。

しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症予防と協賛いただいている事業所のコロナ禍における状況も踏まえ、やむを得ず中止する事となりました。

毎年、協賛いただいている事業所のみなさま、並びにご参加いただいているみなさま、ご理解ご了承くださいますようお願いいたします。

「大島を想う熱い意見が飛び交っています!」





子ども支援
ボランティア
まつだつきお
松田次生 さん

宗像市ボランティアセンターでは、ボランティアをしたい人と、ボランティアをしてもらいたい人をつなぎ、ボランティア活動を支援しています。(ボランティアネットワーク、通称V-net〈ブイネット〉)

今回は、V-netに登録し、子ども支援ボランティアとして活躍する松田次生さんにインタビューしました。

Report

ボランティアセンター通信
 土日曜日、祝日を除く午前8時30分〜午後5時
 〒(37)4100 電話(37)4101
 メールアドレス
 v-net@syakyo.munakata.com
 ホームページ

それまで私は、他人のために何か行動するという考えは全くありませんでした。それから、勤めていた会社が企画したボランティアを始め、実業団女子駅伝のコース整理、直方チューリップ園の球根掘り、さつき松原の海岸清掃、スペシャルオリンピックス大会(知的障がい者のスポーツ大会)の運営などさまざまなボランティアに参加してきました。

私がボランティアを始めたのは、妻の言葉が大きく影響しています。妻は、介護の仕事をしていたので、なぜ介護の仕事をしたのかと、妻は「私はお年寄りが好きなの。お年寄りのお世話をさせてもらう事で、幸せを感じる事ができるのよ。」と、答えました。

妻の言葉がきっかけに



風づくりイベント
ボランティア



ボランティアを通じて仲良しになった3人。右から永野さん、望月さん、松田さん

退職後、すぐにボランティアセンターに相談し、ボランティアネットワークに登録させていただきました。登録してからは、子どもに関わるボランティアに参加する機会が多くありました。センターに勧められて「子育てマイスター」の資格を取ってからは、人とのつながりがさらに広がり、発達支援センターのぞみ園療育施設の保育など、ボランティアの枠を超えてお付き合いさせていただいています。

すぐにボランティアセンターへ

スペシャルオリンピックス大会の運営時の事です。彼ら、彼女たちのスポーツに打ち込む姿や、得点した時のハイタッチやハグで大喜びしている姿を見て大感動しました。それから、人と関わるボランティア活動を優先してきました。

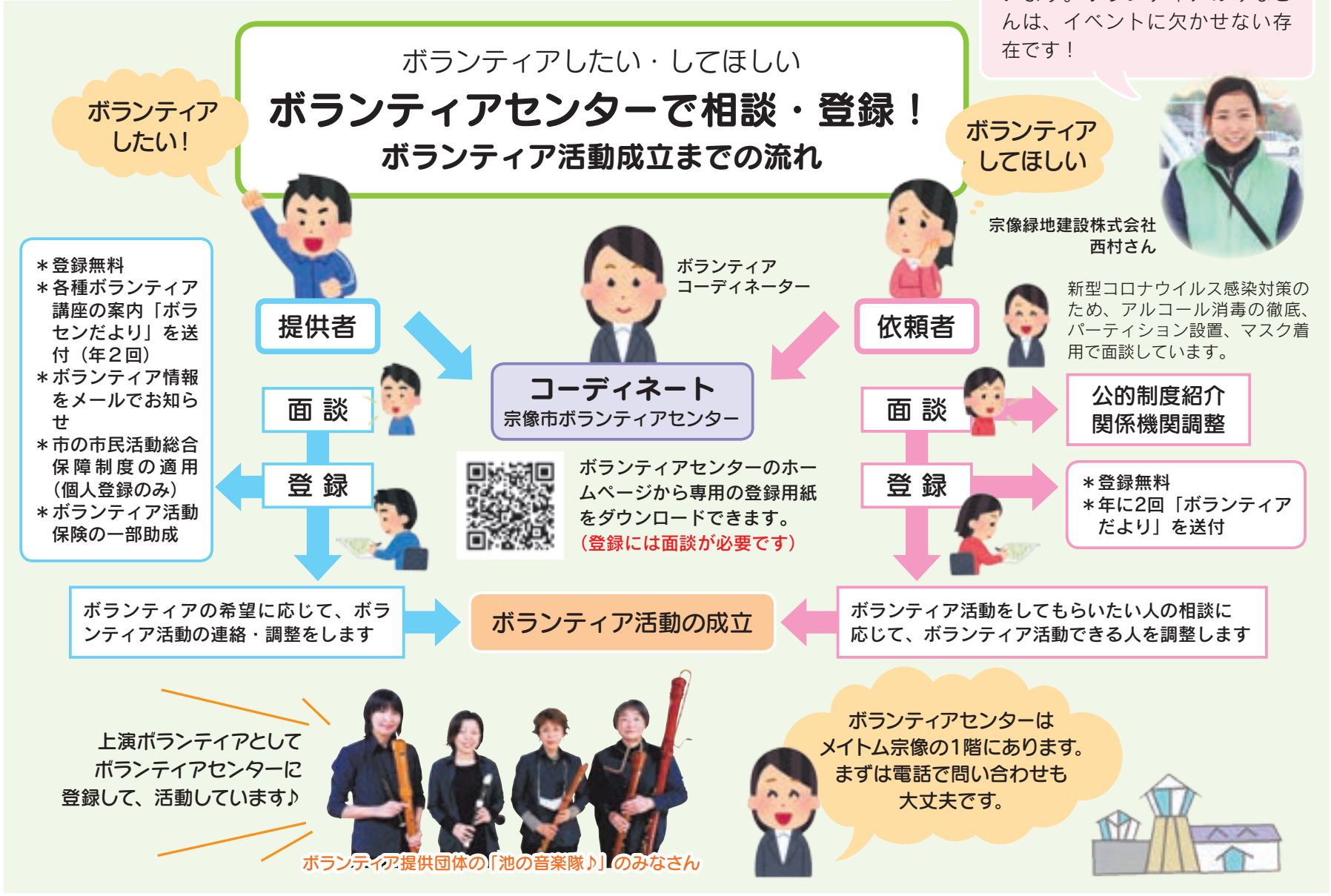
ボランティアで感動

コロナ禍が続くこの世の中で、心がモヤモヤしたり、空虚な気持ちになっっている人が多いように思います。ボランティア活動は、心や気持ちを透明にしてくれます。ボランティアをはじめたら、勇気をもって「一歩」ふみ出してみたいです。

ボランティア活動は、やってあげているのではなく、させてほしいという気持ちも思っています。お年寄りやお母さんの笑顔、子どもたちの屈託のない顔を見ていると、こちらの方が清々しい良い気持ちになりますね。

ボランティアをする時の自分ルール

「ボランティア依頼者の声」
ふれあいの森総合公園のイベントでは、いつもボランティアのみなさんに協力いただいています。経験豊富な方が多く、安心してお任せすることができています。ボランティアのみなさんは、イベントに欠かせない存在です!



令和3年度 福祉ボランティア養成講座 開催します！

主に福祉分野や対人ボランティア活動に必要な知識やスキルについて楽しく学ぶことができる講座です。

みなさんもしょに学びませんか？

●日程 3月1日(火)・3日(木)の全2日間

(午後1時受付開始)

●募集人数 20人

●対象 市内在住か通学、通勤している人 他

●参加費 500円

●申込締切日 2月22日(火)

●その他

●飲み物等は各自準備してください。

●修了書を交付します。

●新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒、換気を徹底しています。マスクの着用をお願いします。

●感染状況により中止する場合があります。



Googleフォームからも申し込みできます。



講師 産業カウンセラー 原 摩利香さん

■申込 同センター氏名(ふりがな)・年代・住所・連絡先を伝えてください。

※土曜と日曜、祝日の申込はファックスまたはメールにて受付(メールアドレス: v-net@syakyo.munakata.com)

●内容・会場

日程	時間	内容	会場
3/1(火)	13:30	開講式 レクリエーション	メイトム宗像202会議室
	16:30	心にゆとりをもったかわり方とは…(基礎)なぜ自分を知ることが必要なのか	
3/3(木)	13:30	心にゆとりをもったかわり方とは…(応用)相手の思いをくみとるには?	メイトム宗像202会議室
	17:00	閉講式	

令和3年度 在宅介護者応援セミナー 参加者募集

市内在住で、在宅介護をしている人を対象に標記セミナーを開催します。

●日程: 2月17日(木)10:00~12:00

●会場: メイトム宗像202会議室

●対象: 市内在住で、在宅介護をしている人

●講師: 荒牧陽子さん(メンタルトレーナー)

●内容: 自分を好きになる心のセルフケア講座

●参加費: 無料 ●定員: 30人

●主催: 市、市社会福祉協議会

●申込先: 市社会福祉協議会

*「社協だより」の末尾を参照【締切日2月14日(月)】

※各行事、新型コロナウイルス感染症状況によって中止する場合があります。

オレンジカフェの日程

*令和3年12月現在の予定

毎回、楽しい企画満載のオレンジカフェ。どなたでも参加できます。認知症に関する相談もどうぞ。

日にち	時間	場所
2/24(木)	13:00~15:00	自由ヶ丘 第3区会公民館

●料金 ¥100 ●申込 必要



オレンジのまど

~認知症支援に関するお知らせ~

問い合わせ

市社会福祉協議会 ☎(37)1300

認知症サポーター向けのステップアップ研修会開きます!

認知症のある人やその家族が安心して日頃の生活を送るためには、周りの人々の関わり方が大きく関係しています。当事者のみなさんが必要としている支援についていっしょに考えてみませんか。「認知症の人の役に立ちたいけど、どうしたらいいの?」そんな疑問が解決できるかもしれません。

●日時: 2月16日(水)の14:00~16:00 (受付13:30開始)

●内容: わたしたちができること。「地域の力」とは? 「フレイル」について

●講師: soranoie 代表 渡邊幸恵さん (看護師・認知症ケア専門士)

●会場: メイトム宗像 2階 202会議室



わたなべゆきえ 渡邊幸恵さん

●対象者: 市内在住・在学で過去「認知症サポーター養成講座(※)」を受講し、サポーターとして活動することに興味関心がある人(住民向けの講座です) ※認知症サポーター養成講座(認知症の知識や本人・家族への対応を学ぶため地域や職場、学校等で開催されている講座)の受講者。修了者はサポーターの証「オレンジリング」「サポーターカード」を所持。

●定員: 20人 ※受講できない場合のみ連絡

●参加費: 無料(託児なし) ●持参品: 筆記具

●申込締切日: 2月9日(水)必着

●申込方法: 電話・ファックス・電子メールで問い合わせ先(番号、アドレスはこの紙面の末尾を参照)に申し込む。

必要事項: 氏名(ふりがな)・住所・日中連絡可能な電話番号(本申し込みにより得た個人情報は、許可なく当事業目的以外での利用や第三者へ提供しません)



障害者生活支援センター

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分~午後5時 ☎(34)2411 ☎(34)2422 メールアドレス aaw09180@hkg.odn.ne.jp

ピアサポート事業 参加者募集のお知らせ

チャレンジ!ポッチャ大会

同センターでは、障がいのある人やピアサポーター(障がいのある当事者・家族の相談員)と一緒に活動をするピアサポート事業を開催しています。今回は、市スポーツ推進委員会の協力のもと「ポッチャ」をします。「ポッチャ」とは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青6球ずつのボールを投げたり、転がしたりして、



障がいのある人で、レクリエーション活動を通じて仲間づくりを

したい人の参加を待っています。もちろん初めての参加も大歓迎です! 詳しい内容については、問い合わせください。 ●日時 3月6日(日) 午前9時15分受付~11時30分解散 ●場所 市海B&G 海洋センター(江口965-2) ●対象 障がいのある人 ●定員 20人程度 ●参加費 無料 ●持参品 室内用シューズ・飲み物・タオル ●申込期間 2月18日(金)まで ●問い合わせ先 同センター ☎(34)2411 FAX(34)2422

寄付

ありがとうございます

【香典返し(敬称略)】 (故)米満勝豊 (深田) (故)占部禎三 (上八) (故)和田文子 (上八)

(故)酒瀬川千恵子 (自由ヶ丘西町) (故)中山秀人 (平井) (故)安部シカエ (河東) (故)小澤道子 (牟田尻) (故)大塚タミ子(和歌美台) (故)鎌田富子(牟田尻) (故)森内カメ (池田)

【一般寄付】

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振込や現金書留でも受け付けていますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

社協だよりは、偶数月の1日号です(年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地メイトム宗像内 ☎(37)1300 大島支所 宗像市大島1809番地32ふれ愛センター内 ☎(72)2294 ホームページ http://syakyo.munakata.com/ メール info@syakyo.munakata.com 本会は、むななたタウンプレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています